

Chapter 1 インプラント一次手術時におけるフラップデザインバリエーション

- 1-1 基本に忠実に、審美的な結果を得たい
上顎前歯部へのインプラント通常埋入手術
- 1-2 白歯部に安全にインプラントを埋入したい
白歯部へのインプラント通常埋入手術
- 1-3 狭小部位に対しGBRと同時にインプラントを埋入したい
マイナーGBRを併用したインプラント埋入手術
- 1-4 抜歯後もインプラント唇側歯肉を維持したい
マイナーGBRを併用した上顎前歯部インプラント埋入手術
- 1-5 適切な位置にインプラントを埋入するために骨の厚みを確保したい
マイナーGBRを併用した上顎前歯部インプラント埋入手術
- 1-6 高度顎堤吸収に対し戦略的にインプラントを埋入したい
大規模なGBRを併用した白歯部インプラント埋入手術
- 1-7 フラップを開けたいが、隣在歯の歯頸ラインを変えたくない
隣在歯にインプラントが埋入されている場合の切開線
- 1-8 サイナスリフトにおいて創の裂開を避けたい
ラテラルアプローチによるサイナスリフト
- 1-9 高度な外科処置をすることなく骨増生を行いたい
オープンメンブレンを用いた白歯部の歯槽堤保存術
- 1-10 前歯部を三次元的に骨増生したい
チタンメッシュを用いた大規模なGBR
- 1-11 抜歯後、低侵襲で審美的に軟組織を作りたい
ソケットシールによる歯槽堤保存術

Chapter 2 インプラント二次手術時におけるフラップデザインバリエーション

- 2-1 確実かつ低侵襲なインプラント二次手術を行いたい
ティッシュバンチアウト法を用いた上顎前歯部インプラント二次手術
- 2-2 できるだけシンプルにインプラント二次手術を行いたい
最小限の切開でインプラント周囲軟組織をマネジメントする方法
- 2-3 白歯部インプラント周囲にも歯間乳頭を作りたい
白歯部におけるインプラント二次手術
- 2-4 上顎インプラント頰側に十分な角化歯肉を獲得したい(単独歯槽)
歯肉弁根尖側移動術を併用したインプラント二次手術
- 2-5 下顎インプラント頰側に十分な角化歯肉を獲得したい(複数歯槽)
歯肉弁根尖側移動術を併用したインプラント二次手術
- 2-6 下顎インプラント頰側に十分な角化歯肉を獲得したい
遊離歯肉移植術を併用したインプラント二次手術
- 2-7 前歯部の軟組織を水平的・垂直的に増やしたい
結合組織移植術を併用した前歯部のインプラント二次手術
- 2-8 歯槽頂予測切開を大きく外したが、どうしたらいいか?
インプラント二次手術時のトラブルリカバリー

Chapter 3 天然歯周囲の環境改善におけるフラップデザインバリエーション

- 3-1 歯肉のディスカラーションを改善したい
結合組織移植術による歯肉のフェノタイプの変更
- 3-2 ブリッジ下のくぼんだ歯肉を膨らませたい
結合組織移植術を応用した歯槽堤増大術
- 3-3 ボンテック部の軟組織を増やしたい
ロール法を用いた有茎結合組織移植術

- 3-4 補綴予定歯周囲の角化歯肉を増やしたい
補綴予定歯に対する遊離歯肉移植術
- 3-5 白歯部に強固な角化歯肉を獲得するとともに歯肉退縮部も根面被覆したい
遊離歯肉移植術による付着歯肉の獲得と根面被覆
- 3-6 角化歯肉移植で歯周環境を整えつつ歯肉を増生したい
遊離歯肉移植術による付着歯肉の獲得
- 3-7 外科的対応でガミースマイルを改善したい
歯肉弁根尖側移動術を用いた審美的歯冠延長術
- 3-8 フェールルを獲得しつつ、長期間維持する歯周環境を整えたい
歯肉弁根尖側移動術による歯冠延長術
- 3-9 矯正治療で失った歯間乳頭を取り戻したい
結合組織移植術を用いた歯間乳頭再建術

Chapter 4 根面被覆術におけるフラップデザインバリエーション

- 4-1 審美的に歯肉を増やしたい
補綴処置を前提とした軟組織の増大術
- 4-2 低侵襲で確実に根面被覆したい
Tunneling Techniqueによる根面被覆術
- 4-3 複数歯を大胆に根面被覆したい
Modified Langer Techniqueによる根面被覆術
- 4-4 重度の歯肉退縮により露出した根面を被覆したい
Double Papilla Techniqueを応用した根面被覆術
- 4-5 広範囲に退縮した歯頸部歯肉を再生したい
VISTA Techniqueを用いた根面被覆術

Chapter 5 歯周組織再生療法におけるフラップデザインバリエーション

- 5-1 歯間乳頭を温存しつつ歯周組織再生療法をしたい①
歯間乳頭保存術(Papilla Preservation Technique)を応用した歯周組織再生療法
- 5-2 歯間乳頭を温存しつつ歯周組織再生療法をしたい②
MIST (Minimally Invasive Surgical Technique)を応用した歯周組織再生療法
- 5-3 歯間乳頭を温存しつつ歯周組織再生療法をしたい③
M-MIST (Modified-Minimally Invasive Surgical Technique)を応用した歯周組織再生療法①
- 5-4 歯間乳頭を温存しつつ歯周組織再生療法をしたい④
M-MIST (Modified-Minimally Invasive Surgical Technique)を応用した歯周組織再生療法②
- 5-5 上顎最後白歯遠心の歯周組織再生療法を明視野で簡便に行いたい
狭小部位における最小限のフラップで行う歯周組織再生療法

Chapter 6 歯根端切除術におけるフラップデザインバリエーション

- 6-1 既存の補綴装置のマーヅンを侵襲することなく歯根端切除術を行いたい
歯根端切除術におけるフラップデザイン
- 6-2 歯根周囲の大きな嚢胞を除去したい
歯根嚢胞除去と歯根端切除術におけるフラップデザイン

このシチュエーションに この切開

Flap Design Album

フラップデザイン
アルバム

監著 松川 敏久・北川 雄治・井上 謙

著 岡村 知彦・富塚 佳史・深野 秀明・松尾 憲治

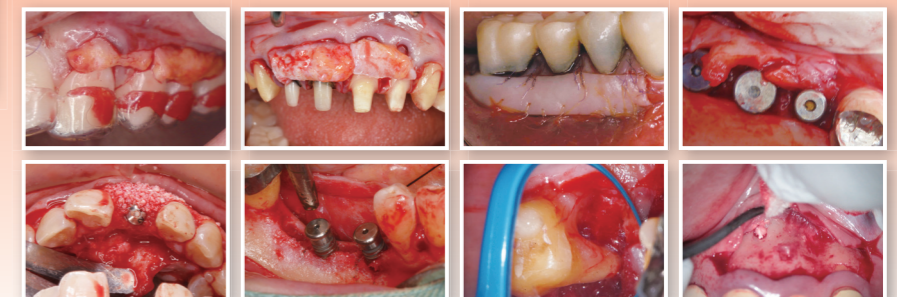


エキスパートは
こんなときどんなフラップを
選択しているのか?

その戦略が直感的にわかる一冊

- 臨床に即したテクニックを学びたい
- 目的達成のために必要な配慮点を知りたい
- 絶対に失敗したくない!

そんな臨床家のニーズに応えます!



A4判 196ページ
ISBN 978-4-909066-36-7 C3047
定価 (本体価格 9,800円 + 税)

注文票

品名	本体価格	冊数
このシチュエーションにこの切開 フラップデザインアルバム	9,800	



インターアクション株式会社
東京都武蔵野市境南町 2-13-1-202
TEL 070-6563-4151 FAX 042-290-2927
http://interaction.jp

